

(別記様式第15号)

令和4年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

富士見町

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る 森林づくり	松枯損木伐倒処理
事業費 1,240,000円 (うち支援金: 1,016,000円)		

事業目的

1) 地域の森林・林業の現状と課題

松林は森林資源のほか、生活環境の保全にも重要な役割を果たしているが、隣県松くい虫の激甚地域である。本県の入り口となる富士見町において、松くい虫被害を拡大させないことが未被害地域となる諏訪地域への進入防止となるため町内での繁殖・定着を防止する。

2) 本事業の課題

松枯損木の伐倒処理を行い、マツノマダラカミキリの繁殖、定着を防ぐ。

事業内容

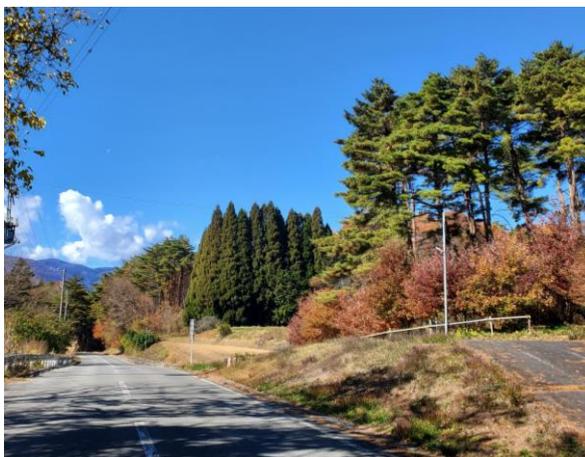
1) 実施場所 富士見町 田端地区・下蔦木地区・机地区・木之間・立沢
瀬沢新田・先達地区・乙事地区

2) 対象者 富士見町

3) 実施方法 伐倒処理

4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成30年度～令和4年度)



事業効果

1) 事業実施の効果

松枯損木の伐倒処理により松くい虫の繁殖、定着を防止できる。

2) 継続性

健全な松林を維持することで松林の保護に繋がる。

3) 普及性

地域一体での取り組みを期待する。

事業の検証及び評価

1) 目標に対する成果の状況

早期に松枯損木を伐倒処理することで、近隣より富士見町に飛来するマツノマダラカミキリの定着・繁殖を防ぎ、松くい虫の発生を抑えることができた。

2) 課題

激甚地帯である山梨県は小さな河川を挟んで当町と近接しており、被害が当町にいつ広がってもおかしくない状況であるため、未然の防止が必要。

3) 今後の取り組み方向

■事業を現行どおり継続する。

監視活動を続け松枯損木を発見した場合には伐倒処理を行い、未然の対策を実施してゆく。